

RI2820地区

# 水海道ロータリークラブ



2016-2017年度 RI会長  
ジョン F. ジャーム 氏

**例会予定** 7月12日 各委員会事業計画発表  
7月19日 各委員会事業計画発表

VOL. 55 No. 1 (通算No. 2520)

2017年 7月 5日(水) 例会プログラム

点 鐘

君が代・ロータリーソング

ビジター紹介

出席報告

S A A 報告

諸 報 告

幹 事 報 告

会 長 挨 拶

新年度会長方針 他



認証状

- (1) 創立記念日 1963年9月25日  
(常陽銀行 水海道支店)
- (2) RI加盟承認 1964年1月28日
- (3) チャーターナイト 1964年5月17日  
(県立水海道一高)
- (4) チャーターメンバー34名  
(内現在会員数1名)
- (5) 創立当時のガバナー 小野 康平氏
- (6) スポンサークラブ 土浦ロータリークラブ
- (7) 特別代表 細野 勝久氏
- (8) 所在地域 常 総 市

2016-2017年度 会 長 齋 藤 広 巳 幹 事 北 村 英 明

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790  
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386  
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



例会報告 VOL. 54 No. 37 (No. 2519) 6月21日(水)雨 (司会 瀬戸隆海委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎会長・幹事一年間の報告

## 誕生祝

《ご夫人》山牟田会員

## 諸報告

国際奉仕委員会 鈴木勝久次年度委員長

2017-2018年度 ツウンバ交換学生の募集を始めます。宜しくお願い申し上げます。

地区国際奉仕委員会 瀬戸隆海総括委員長

当クラブ推薦の園田裕明さんが、グローバル補助金で1年間イギリスへ留学が決定しました。近いうちに挨拶にお越しになる予定です。

幹事報告 北村英明幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

さよなら例会・・・6月28日(水) 午後6時より 糶屋

会長挨拶 齋藤広巳会長



ロータリー友の中に、ようこそロータリーという記事があります。これは『友』編集長二神典子さんが毎月書いているものです。3月には4月22日のアースデイに向けた記事がありましたので紹介します。

「一人、一本の木を植えましょう」

1月に開催されたガバナーエレクトの研修会、国際協議会で、国際ロータリー(RI)会長エレクトのイアンH. S. ライズリー氏は、ロータリーの活動が「持続可能」なものであることの重要性について話しました。そして「持続可能性には、あらゆることを支えるもう一つの側面がありますが、この側面はロータリーではほとんど語られません。この側面について、私たちの責任ではないとして、これ以上棚上げすることはできません」と続けました。

ライズリー氏の言うもう一つの側面、それは「地球の持続可能性」です。そして、その一つの手段として、「新年度の開始から2018年4月22日の『アースデイ』までの間に、各会員につき少なくとも一本の植樹をするよう、すべてのロータリークラブをお願いしたいと思います」と述べています。

ライズリー氏は、この取り組みの意義について「この取り組みで120万本の新しい樹木が植えられ、環境への良い影響があるでしょう。ただ、私はそれよりもっと大きな影響があることを願っています。それは、この取り組みを通じて、この地球に住む人だけでなく、私たちが住み、頼っている地球そのものを救う責任がロータリーにあると、私たちが気付くことです」と述べています。

新会員の皆さまは新鮮な提案に思われたかもしれませんが、クラブの大先輩に聞くと、「以前にもあったよ」と言って「われらの天体 地球の保全(Preserve Planet Earth)」という言葉、懐かしそうに教えてくれるかもしれません。1990-91年度RI会長のパウロV. C. コスタ氏が、地球の環境保全を呼びかけています。前出の「われらの天体 地球の保全」は環境保全プログラムの名称として出されたものです。

コスタ氏は11月1日を「ロータリー環境保全デー」としました。また、コスタ氏がRI会長に就任した1990年7月のRI理事会では、「1990-91年度から1992-93年度を通じて、RIの試験的プログラムとして天体地球の保全プログラムを強調することを採択」しました。これに呼応して、植樹を実施したクラブも多かったようで

す。

植樹と言って次に思い出されるのが 2004-05 年度、ロータリー100 周年の年度です。100 周年を記念して、地元の公園にサクラの木を1本植える活動から、山に何百本もの植林をする活動まで、『友』誌にはたくさん植樹の記事が掲載されています。この年度、ロータリアンたちによって、日本中でいったい何本の木が植えられたのか……。

ところで、こんな話をご存知ですか？2016年7月11日、インド北部のウッタル・プラデーシュ州で約80万人のボランティアが参加して、4,930万本の苗木が植えられました。たった一日です。この植樹はCOP21で採択されたパリ協定を受けて実施されたもので、インド政府は60億ドルを費やして国土の12%を再植林化するとしています。この数字を聞いたら、120万本の植樹くらい「何とかなりそう」と思われたかもしれません。

しかし、ライズリー氏が強調したのは「持続可能性」。つまり、木を植えるだけでなく、間伐など、その後の手入れも考えなければいけないということです。これは、なかなか骨の折れる活動です。

横浜ロータリークラブ(第2590地区・神奈川県)では、横浜市の水源地に1988年に植樹。以来、会員が、家族やインターアクターたちとともに、植林や間伐など、森の手入れを続けています。自分たちが実施するのか、地域の人たちを巻き込んで一緒に行うのか、または地域の人たちに任せるのか、いずれにしても、植えた後の計画も大事です。

「地球の持続可能性」、それでも私たちが考え、実行しなければならない、大きな課題です。

こんな記事でした。

さて、トランプ大統領は前政権の温暖化対策を撤廃し、世界最大の規模の温室効果ガス排出国でありながら、パリ協定からも脱退してしまいました。協定の重要性に気づき、また批准するよう願っています。

## 一年間を振り返って

### 北村英明幹事



今から3年前の12月に、当時の斎藤会長ノミーからお誘い・ご依頼を頂き、次年度会計を仰せつかり早2年半が流れました。この間、クラブ全体の行事の流れ・お金の流れ・各委員会の役割・分区や地区との関わり・RIの中でのクラブの位置付け、等々様々なことを学ばせて頂きました。貴重な経験をさせて頂きこの場をお借りして斎藤さんに感謝申し上げます。今期の大きな事業の1つ“復興への道しるべ”事業については、昨年度に地区補助金の申請書類の作成から実行まで関わり、約21万円の補助を地区から頂き事業費に補填することができました。

斎藤会長の顔の広さもあって、市の大きな事業に見事にマッチングできた意義深い活動だったと思います。秋田委員長はじめ社会奉仕委員会・青少年奉仕委員会の皆様にも深く感謝申し上げます。

1つ1つの事業をすべて挙げればかなりの時間を要しますが、毎週の例会について企画頂き、恙なく・楽しく・明るく進行して頂いた瀬戸委員長はじめプログラム委員会・出席委員会・SAA・親睦委員会の皆様に感謝申し上げます。(大澤会員の熱心なニコニコ取り立てには降参しましたが・・・あと少しで200万円の目標をクリアできそうです)又、色々と趣向を凝らして各行事を盛り上げて頂いた親睦委員会の皆さん、復興の道しるべ事業でお骨折り頂いた社会奉仕委員会・青少年奉仕委員会さん、例年のことながらTOOWOOMBAとの交換学生・交流事業について送り出しも引き受けも、安全に確実に進めて頂いた国際奉仕委員会の皆さん(幹事としては異例のホストファミリーまでやらせて頂きました)、今を時めくサイバーデザイン社を訪問し、皆が驚きで口をあんぐりとして感心した見学会を企画・運営した職業奉仕委員会さん、その他の委員会の皆さんにもそれぞれにご尽力・ご活躍頂き、無事に今日を迎えることができました。皆様大変ご苦労さまでした。

今年度は例年の行事・活動に加えて、プラスαの決め事が幾つかあったため、会議や会合も例年以上の回数でした。RI規定審議会の定款改訂の裁定による、クラブ細則の見直し＝再作製が必要でした。会長と私・次年度会長・次年度幹事の他計10名ほどの組織で何度か策定会議を開き、最終的に皆さん全員に新しいクラブ細則を承認頂きました。松坂会員・北村PGはじめ諸先輩のご経験・ご意見を参考にさせて頂きました。

又、次年度の2820地区ガバナー補佐の輩出依頼が当クラブにあり、会長と相談し歴代会長会議を招集して皆さんにお集まり頂き、今回からのガバナー補佐推薦・輩出の方法を全会一致で決めて頂きました。その結果、次年度 青木清人ガバナー補佐誕生の運びとなりました。次年度の青木ガバナー補佐のご活躍を心からご祈念いたします。プラスαの事業としては、クラブ親睦ゴルフ同好会が立ち上がりました。数年前から、特に大塚会員に是非早々に立ち上げてほしい、というお話があり全員にお声掛けしたところ総勢30人ほどの皆さんに御加入いただきました。今後とも会が末永く楽しく継続できるよう私も協力させて頂く所存です。

以上、振り返ると実に多くの行事・決め事がありました。会長の補佐として1年何とか全うできました。その第1の要因は各委員長さんはじめ皆様のご協力の賜物です。ROTARYにNOという言葉は無い、と言われるが斎藤会長との考えに基づいて委員長・会員さんをお願いして「これは出来ない」といった回答は殆どありませんでした。全会員の皆さんがそれぞれの立場で与えられた責務を果たされるそして協力し合う、という当たり前のようで難しい精神が当クラブには染みついている、というのが今率直に感じるどころです。白戸ガバナーも感心されていた様に、年齢層やロータリー歴も程よくバランスが保たれているクラブだそうです。このクラブのメンバーとして幹事として活動出来得ることに感謝と誇りを持った1年でした。

斎藤会長について・・・お互いの会社の事やゴルフをはじめプライベートな話をたくさんさせて頂きました。又、ロータリー談議も随分とやりました。全ての行事の度に打ち合わせもしました。毎週例会前の11時に事務所集合で和久さんと3人で事前準備・打ち合わせもしました。全く違う業種で会社の成り立ちも違いますが、顧客への取り組みの姿勢・事業拡張への意欲・従業員の教育、等々沢山のことを会長から学びました。ゴルフについては残念ながら技を盗むまでは行きませんが、この1年でいただくHDCPも1枚位は減った気がします。会長の背中を見て、人生について・事業について・ロータリーについて・ゴルフについて・ここ1番の集中力について、沢山のことを勉強させて頂きました。心から感謝申し上げます。1年間会長の心臓が持ってよかったあ、と今つくづく思います。最後になりますが、微に入り細に入りご指導・ご指摘・叱咤激励頂いた事務局の和久さんにはとてもお世話になりました。皆さんのおかげで今日を迎えることができました。ありがとうございました。

## 斎藤広巳会長



まず始めに、たよりない会長と少したよりになる幹事の今年度を一年間支えてくださった、全会員の皆様に感謝申し上げます。先輩会員の皆様には御指導いただき、各委員長、そして若い会員の皆様には精力的に活動していただき、なんとか一年間大過なく終える事ができそうです。ありがとうございます。

振り返ると、会長エレクトとなりあと1年と思っておりましたが、あっという間に1年がすぎ、諏訪神社の神が宿っているような樹齢のけやきが若葉色から深い緑色となり、6月に入ると、自分に会長が務まるのか不安でなりませんでした。

前年度の海老原会長はあいさつも素晴らしかったのですが、水害に合い、自宅が全壊となりながらも、一度も休むことなくその職務を全うされました。これが自分だとしたら、とてもロータリーの例会に出席する事は出来なかったと思っています。今は海老原会長をリスペクトし憧れてもおります。

さて、今年度の事業というとやはり一番に水害復興の支援になるかと思えます。前年度は、地区に寄せられた義援金を常総市図書館と、県に寄贈し、又、被災した4小中学校、社会福祉協議会へと支援をしましたが、水害復興には長い時間と大きなお金がかかるという事で、今年度も常総市との共同開催事業、「水害から学ぶ歴史教育事業」を支援実行しました。9月に水害の歴史パネル写真展覧会を開催し、石下地区交流センターにてセレモニーを行いました。ロータリーよりドローンと水没水位シールを寄贈し、市内小学校5年生を対象にして、28年11月、29年1月、3月、5月と全4回で、常総市の昭和63年の小貝川の決壊現場、今回の鬼怒川決壊現場の地形の変遷、風景を、ドローンを使って見学し、被災した公共施設やロータリーメンバーの会社などに、子供たちを中心に水位シール貼りをし、最終回の5月には、石下地区交流センターで子供たちが常総市のジオラマを作成しました。このジオラマは、現在石下地区交流センターにて、今回の事業に参加した子供たちの感想文とともに展示されていますので、ぜひ見に行ってくださいと思います。

この事業は、茨城新聞にも取り上げられ記事となりましたので、広報・公共イメージという点でも価値ある事業となりました。担当となった社会奉仕委員会・青少年奉仕委員会の皆様、大変ありがとうございました。特に、両委員長には多くの時間を割いていただきました事、感謝申し上げます。

水害復興の支援は、今後も必要と感じた事業でした。

国際奉仕委員会のオーストラリア・ツウンバへの短期交換留学生は、8月に3名の男子学生を送り、受け入れについては昨年水害でできませんでしたが、今年は1月に男子1名女子2名の学生を受け入れる事ができました。国際奉仕委員会とホストファミリーのご家族の皆様に、大変なご負担をおかけしてできたことです。ありがとうございました。

5月には、職業奉仕委員会の職場見学移動例会がありました。東雲で例会食事をし、イーアスつくばのサイバーデザイン社の展示場で、介護用最先端のロボットを見学し、使用テストをした人もいました。科学の進歩に驚かされました。参加会員の皆様から、良い企画だとの声が聞かれました。私も大変良かったと思えました。クラブの雰囲気作りの要でもある親睦活動委員会では、観劇会に最も力を入れたとして家族の参加を無料として実施し、ミック東京に多くの皆様にご参加いただきました。家族無料の新企画に感謝します。

また、今年は3年に一度の規定審議会あり、クラブ運営に柔軟性を持たせるとして、国際ロータリー定款・細則が変更されましたが、水海道ロータリークラブでは、手続要覧日本語版が出るのを待ち、委員会を立ち上げクラブ定款・細則の変更をしましたが、皆様も知っての通り、必要最小限の細則の変更となりました。クラブの歴史と伝統を重視した結果と考えています。

活動の一部を紹介しましたが、すべての委員会の活動に、そして常に強力なバックアップをしていただいた事務局の和久さんに、感謝申し上げます。

最後にもう一度、一年間ありがとうございましたと申し上げまして、報告とします。

## 2016－2017年度 事業実績報告

### ロータリー財団 松村仁寿委員長

皆様からの温かいご寄付に支えられ、ロータリーはこれまで世界中の人びとの生活を向上させる活動を行ってきました。ロータリー財団へのご寄付はこれからも、平和の推進、教育の支援、疾病の予防と治療、地元経済の成長、水と衛生施設の提供といった活動に役立てられます。

ロータリーの現在の活動を支援する年次基金は、シェアシステムと呼ばれる仕組みを通じて、3年後にクラブの奉仕活動や、人道的プロジェクトなどの活動を支える補助金に生まれ変わります。これらを念頭に置き、財団の目的等を会員の皆様に、ご理解、ご協力を頂きましたこと、誠にありがとうございました。次年度もロータリー財団に温かいお心遣いをお願い致します。

1. ロータリー財団の理解を深めて頂くため、ロータリー月間には月間に因んだ卓話の実施(プログラム委員会の協力)
2. 寄付数値目標、1人当たり150ドル(内訳として年次寄付130ドル、ポリオへの寄付20ドル)実施
3. 恒久基金(ベネファクター)1,000ドル1名以上 実施(2名)
4. ポールハリス・ソサエティ・メンバー 1名
5. ワンコインボックスを継続事業としてSAAと連携実施し、その資金を奉仕活動に活用する 実施(人命救助のお手伝い)

### 出席報告 武藤康之委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	出席免除	メーク	出席率
53名	38名	16名	0名	3名	77. 36%

ニコニコボックス 大澤 清副委員長

入金計 ¥122,000 累計 ¥1,947,100

誕生祝御礼《会員》山野井会員 《ご夫人》山牟田会員

一年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。 齋藤会員

一年間とても勉強になりました。皆様、御協力ありがとうございました。 北村(英)会員

齋藤会長、北村幹事一年間お疲れ様でした。どうぞ羽を休めて下さい。ただし、一年間だけですよ！(笑)

先週は、新旧委員長会議ご出席お疲れ様でした。 石塚(克)会員

お疲れ様でした。また、新しい年度宜しくお願ひします。常陽白梅会ゴルフにて準優勝を致しました。お世話になりました。 北村(仁)会員

雑誌委員会一年間大変お世話になりました！ 山牟田会員

齋藤年度御苦勞様でした。 松坂・小島 各会員

一年間お世話になりました。齋藤会長・北村幹事ご苦勞様でした。 大串・島田 各会員

一年間お世話になりました。 染谷(正)・倉持 各会員

齋藤会長、北村幹事一年間大変お世話になりました。お疲れ様でした。 五木田(裕)会員

一年間お世話になりました。また、出席委員会にご協力頂きありがとうございました。 武藤会員

一年間お世話になりました。次年度も宜しくお願ひ致します。 亀崎会員

齋藤会長・北村英明幹事一年間立派に務めを果たされました。お疲れ様でした。 海老原会員

齋藤会長・北村幹事、一年間お疲れ様でした。早退します。 田上会員

齋藤会長・北村幹事、一年間お疲れ様でした。 石塚(利)・前島・大澤 各会員

齋藤会長・北村幹事、一年間お疲れ様でした。またお世話になりました。 松崎会員

齋藤会長・北村幹事、一年間お疲れ様でした。プログラム委員会大変お世話になりました。 瀬戸会員

会長・幹事の皆様、一年間ご苦勞様でした。感謝です。 細野会員

今年度も終わりですね。一年間お世話になりました。また齋藤会長・北村幹事ご苦勞様でした。 福田会員

会長・幹事、一年間ご苦勞様でした。 白井会員

会長・幹事お疲れ様でした。 北村(陽)会員

さよなら例会前の本年度最後の例会会場での例会です。皆様一年間本当にありがとうございました。

青木(英)会員

齋藤会長・北村幹事、一年間大変お世話になりました。 和久事務局

本日早退します。 鈴木(勝)会員

例会欠席しました。 石井・内村・大堀 各会員

6月28日(水)さよなら例会ニコニコ

入金計 ¥85,000 累計 ¥2,032,100

廣井・染谷(昭)・齋藤・鈴木(旦)・染谷(秀)・松坂・北村(仁)・田上・大串・島田・福田・青木(清)・亀崎・秋田

大澤・白井・前島・鈴木(邦)・長塚・荒井・鈴木(勝)・松村・鯉沼・北村(英)・石塚(克)・青木(英)・石井・古矢

登坂・内村・五木田(裕)・山牟田・大塚・倉持・松崎・熊谷 各会員

御協力ありがとうございました。

会報委員会 亀崎徳彦委員長 福田克比古副委員長 白井 豊委員